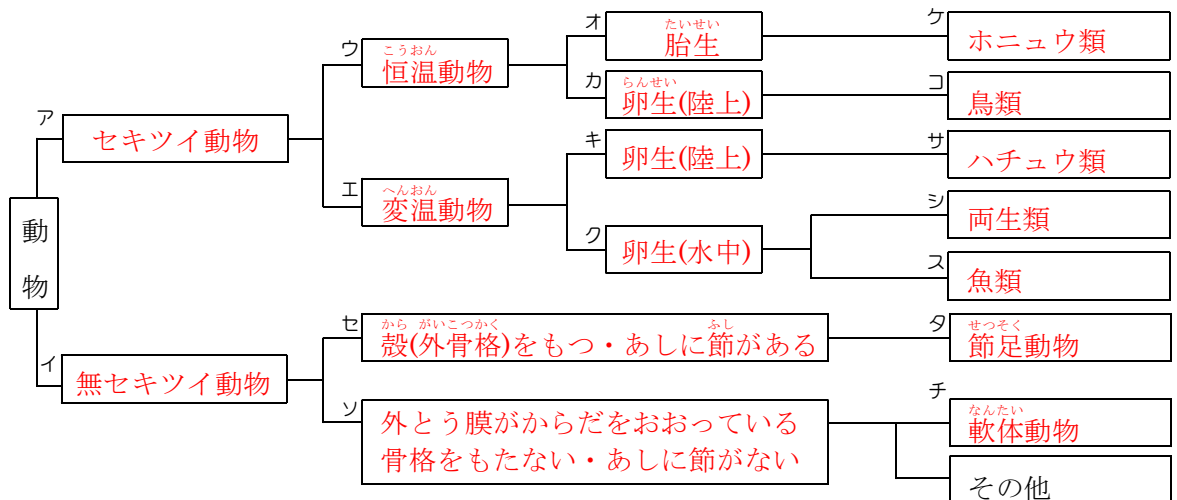


無セキツイ動物の仲間



節足動物 (せつそくどうぶつ) … 体の外側をかたい殻(外骨格)でおおう動物をいう。
 … 体は節からでき、外骨格の内側の筋肉であしを曲げたりのぼしたりする。
 … 外骨格は大きくなならないので、成長にもなって外側の外骨格がじゃまになり、脱皮(だつぴ) (外骨格をつくりなおす) して新しい大きいものにとりかえる。

甲殻類 (こうかくるい) … ザリカニ・エビ・ミジンコ：体が頭胸部と腹部に分かれ、水中で生活し、えらで呼吸。

昆虫類 (こんちゅうるい) … トンボ・バッタ・カブトムシ・アゲハチョウ
 体が頭部・胸部・腹部に分かれ、胸部や腹部にある気門で呼吸する。

多足類(ムカデ類・ヤスデ類) (たそくるい) … ムカデ・キシヤヤスデ

クモ類 (くもるい) … クモ・サソリ

軟体動物 (なんたいどうぶつ) … 内臓とそれらを包みこむやわらかい外とう膜，節のないやわらかいあし。
 … あしは、内骨格も外骨格もなく筋肉で動かす。
 … 水中で生活するものが多く、えらで呼吸する。

頭足類 (とうそくるい) … 頭から直接足が生えている独特のからだをした動物 イカ・タコ

オノ足類 (おのそくるい) … からだが左右2枚の貝殻におおわれる貝など シジミ・アサリ

腹足類 (ふくそくるい) … らせん状の殻をもつ巻き貝の類。 カタツムリ・マイマイ・タニシ

棘皮動物 (きよくひどうぶつ) … ウニ・ヒトデ・ナマコなど

海綿動物 (かいめんどうぶつ) … カイメン

環形動物 (かんけいどうぶつ) … ミズ・ヒルなど

へん形動物 (へんけいどうぶつ) … ナミウズムシ

コウ腸動物 (こうちようどうぶつ) … クラゲ・イソギンチャクなど